



# 小平六中だより

令和7年度 第8号

発行 令和7年12月25日

\*生徒ならびに保護者の皆様へ\*

「 **自分と向き合う** ～ 過去を背負って今を生き 未来を想って今を生きる ～ 」

校長 大島 義明

終業式では、2学期を振り返り、自分と向き合うことで「明日への一步が始まる」ことを話しました。

すべてを受け入れ、自分ってなかなかやるなと思うことが前に進む一步となります。何かに挑戦しようと思えたことでさえ、その前向きな気持ちをもつ前の自分より成長できているのだと私は思います。

12月8日は太平洋戦争が始まった日です。「始めに終わりを想う」という言葉がありますが、原爆投下という凄惨(せいさん)な経験を、明日への一步を踏み出し、乗り越えてきた 沼田 鈴子 さんの話を伝えました。

以下は、私が実際に広島で沼田さんにお会いした時の話を「あした天気になあれ!」と題してまとめたものです。

## 『あした天気になあれ!』

「沼田さんですか。はじめまして」広島原爆資料館の喫茶室に沼田鈴子さんが約束の時間に現れました。(こんなに小柄の方なの!)失礼ながら、車椅子から軽く抱きかかえられそうな体にとっても驚きました。この人が片足で体を支え、世界中で反戦・反核を訴え、元ソビエト連邦大統領ノーベル平和賞受賞者ゴルバチョフに「反核」を迫った沼田さんか・・・。「外国に行くときは、いつも水代わりにビールを飲むの。お腹こわしたらいけんからね。」その豪快さは本で知った沼田さんそのままでした。今朝、宮城から広島入りし、夕方には福井で講演。見せてもらった手帳には毎日びっしり予定がつかまっていました。私はつたない手紙でお願いをし、時間をつくっていただいたことにとっても恐縮しました。

25年前の話です。わたしは一冊の本と出会いました。『「青桐(アオギリ)の下で～「ヒロシマの語り部」沼田鈴子ものがたり～」広岩近広著 明石書店』。読んだ後、胸にこみ上げる思いがありました。20世紀に生まれ21世紀を生きる今の中学生に、原爆のこと、戦争の悲惨さを知ってもらいたい。そして学び伝えることは、世界で唯一の被爆国である日本人の使命ではないだろうか。その思いで、修学旅行先を広島とし、生徒が1年生の時から平和学習を積み上げてきました。そして事前打ち合わせで、沼田鈴子さんに会いに広島原爆資料館に向かったのです・・・。

沼田さんが21歳の時の事でした。<数日後に結婚式を控えていたが、婚約者は戦死した。沼田さんは原爆でコンクリートの下敷きになり左足を切り落とす。原爆で人生がなくなった。自殺を何度も考えた。死んだ方が楽だ、周りのみんなは死んでいったのに、なんで自分だけ生きているのか。生きていていいのか。生きていて希望はあるのか。・・・「片足を失ったけれども立派な二本の腕がある。私は生きていかなくちゃならない。」そう思えるまでには時間がかかった。

「広島には75年は草木も生えない、人も住めない」と言われた。死ぬことばかりを考えていたそんな折、元職場の通信局の運動場で青桐の木に出会った。(原爆が落ちるまでは、この木の下で同僚達とおしゃべりを交わしたものだ。)樹幹の中央がごっそりえぐりとられ、焼け焦げていた。醜い姿になっていた。沼田さんはわが身と重ねあわせながら、深いため息をつき、涙がにじんできた。その時、涙でかすんだ瞳に緑色の小さな葉が映った。細い小枝が出ていた。傷ついた青桐から新しい生命が芽吹いている。(鈴子、片足がなくなっただけじゃないか。私だって、半分死んでいる。でも、小さいながらも芽を出し、葉を広げると、やはり爽快なんだな。生きるということは、つらいこともあるけど、素晴らしいものなんだよ)沼田さんは声を聞いたように思った。沼田さんは生きた。丈夫な二本の腕を使って洋裁をするようになった。いつしか家庭科の教員として働くようになっていた。原爆のことは一切語らない。思い出すとつらくなるからだ。学校の生徒たちは交通事故かなんかで片足をなくしたぐらいに思っていたと思う。>

10フィート運動への参加をお願いされてから沼田さんは変わっていきました。<原爆に命を奪われ、みんな亡くなった。なぜ自分は生きているのだろうか。多くの犠牲者から私は今日まで生かされている。次の世代に、加害と被害の両面を見つめ、過去の歴史の真実をしっかりと体験を通して語り、過ちを再び繰り返させない世代を育てなくては。私が生きられる時間はもうわずか、動ける間は気力で頑張り通したい。静かに唇をかみしめる。> 沼田さんは被爆者であるとともに障害者でもあります。疲れたり嫌なことがあったりすると「明日天気になあれ」と口にします。

修学旅行本番直前に沼田さんは体調を崩し入院されてしまいました。今はもう天国でしか会えません。沼田さんは本当に強い人だったのでしょか。受け継いだ「いのちのバトン」を生徒の皆さんにつなげなければ。そんな使命を私はいつも心の片隅に感じています。 「あした天気になあれ!」

## 生徒の活躍

〈1年生保護者会では実行委員が受付と保護者に説明しました〉



〈2年生学級委員が小平市都市計画課の方と未来の小平市について話し合いました〉



〈卓球部〉秋季市民卓球大会 男子団体戦準優勝  
男子個人 第3位  
東京都新人大会 3回戦進出  
2回戦進出  
2回戦進出

〈六中地域貢献賞〉地域活動部、(人命救助)

\*地域に開かれた教育課程を目指し、地域社会と連携し、地域に貢献した生徒、グループを六中地域貢献賞として、表彰しました。

〈剣道部〉東京都中学校第10ブロック秋季大会 1年男子 第3位

〈陸上部〉第63回小平市秋季陸上競技大会  
男子中学1年生1500m 第1位 5分00秒4  
男子中学1年生800m 第3位 3分3秒  
男子中学1年生100m 第1位 13秒1  
男子中学1年生走幅跳 第1位 5m41cm  
男子中学1年生200m 第1位 26秒9  
男子中学1年生200m 第3位 29秒5  
女子中学1年生100m 第2位 15秒65  
男子中学共通100m 第1位 12秒6  
男子中学共通100m 第3位 12秒86  
男子中学共通200m 第2位 25秒8  
男子中学共通200m 第3位 26秒3

男子中学1年 4×100mR 第1位 53秒5 小平6中 C  
男子中学共通 4×100mR 第1位 50秒8 小平6中 A  
男子中学共通 4×100mR 第3位 51秒39 小平6中 B  
女子中学共通 4×100mR 第3位 59秒7 小平6中 A

〈水泳部〉第33回西部ブロッククラブ対抗戦 女子100m自由形第5位、女子800m自由形第5位

〈テニス部〉令和7年度 冬季中学生ソフトテニス大会

個人戦 男子の部2年生 優勝 藤崎 蓮・丸岡 桃磨、準優勝 田中 睦人・長尾 拓東

## 今月の主な予定

25(木) 2学期終業式  
26(金) 冬季休業日始

**12月29日(月)～1月3日(土) 学校閉庁日**

※終日、留守番電話対応になります。  
※学校の敷地内に入れません。

## 来月の主な予定

8(木) 始業式  
12(月) 成人の日(祝日)  
15(木)～17(土) 1年スキー移動教室  
19(月) 1年振替休業日  
23(金) 第3回英語検定  
26(月) 都立推薦入試  
新入生保護者説明会(配信)  
28(水) 各種委員会